

# 12

## Vol.9

第14期  
2023年

# 在住協通信

JTA 一般社団法人 日本在来工法住宅協会  
Japan Traditional Wooden Home Association

伝統の技術を未来へ。

Interview File no. 04

### 会員インタビュー

京都地区支部長  
株式会社小藪設備  
代表取締役  
小藪 智孝 さん



### 今月号の見出し

- ・ 会員インタビュー
- ・ 外国人材活用情報  
外国人雇用制度の監理支援  
団体のご紹介
- ・ 新規会員様のご紹介
- ・ 在住協事務局便り
- ・ お知らせ  
東海大学講義開催報告



### Zaiju Kyoko's Pickup!

会員インタビュー

みなさま、こんにちは！在住協通信のナビゲーター、在住協子（ざいじゅうきょうこ）です。

今回は、京都府綴喜（つづき）郡に事務所を構え、在住協の理事も務める小藪さんにインタビュー！

人のつながりを大切に、面倒な事にも率先して手を挙げ、一代で会社を築かれた小藪さん。その志や大切にされている使命をぜひじっくりとお読みください。

### おすすめの愛用道具



下水、上水、雨水と使い分け、難易度の高い案件には自ら配管図を作成することも。いつも携行している必需品です。

## 「プロ意識」を持ち、暮らしを支える水を循環させる

### 「ありがとう」が原動力に

27歳で独立し「小藪設備」を創業された小藪さん。今年で24周年を迎えます。主に人員管理と営業、複雑な案件の設計チェックなどの実務もこなし、総勢20名の社員と共に、住宅を中心に給排水設備工事を請負われています。

高校卒業後、知人の社長の下、運送業や土木業などに携わっていましたがある現場の天井配管を見て「カッコいい！」と思い、給排水工事をもっと覚えたいと思うように。何もわからない頃から率先して手を挙げ現場に行き、一つ一つ真摯に対応し、実績を積み重ねました。その頃に担当した忘れられない住宅現場があるそうです。

「原因不明の漏水対応で、試行錯誤の中で、何度も通い一生懸命作業しました。無事完了したときに、施主のおばあさんの“ほんまにありがとうな”という心からの言葉が、胸にドンと伝わり、給排水設備工事は生活を支え、感謝される仕事なんだと強く実感しました。今でも自分が率先して行動し、その仕事の使命を社員にも伝えていきます」（小藪さん）

小藪さんの、一見すると面倒そうな事にも、「面白いな、ワクワクするか」を軸に、積極的に挑戦されているお話を伺い、ご自身の感性に真っすぐに、人を大切にしながら困難な道を切りひらく才能と力強さを感じました。

### 協会会員へメッセージ

先日の支部長会議がきっかけで、香川の方々と一緒にゴルフに行かれたそうです。また、取引先から岐阜県での工事依頼があった際は、在住協を介し案件を現地の同業他社の会員につないだことも。

「在住協の会議にも積極的に参加し、普通は知り合えない地域の方ともつながる事ができています」（小藪さん）



小藪さんが設計された部材置場。整然と多種多様な資材が並びます。

# 小藪設備の多様な人“財”

女性・若手・外国人…個人を尊重し共に歩む

社員20名の内、小藪さんが最たる理解者と信頼を寄せる部長・課長をはじめ11名は女性。女性設計者は、現場監督とも直接やりとりできる実力者ばかり。

また、20代の社員は、元々は引きこもりがちだった同級生のお子さんで、小藪さんと話をする中で職人の道へ。ご両親も息子さんの選択に驚かれたそうで、今では現場をしっかりと担当しています。



ベトナム人の社員は、まだ友人が少ないので、6歳の息子と一緒に遊びにも誘います。息子とも仲良くなり、難しい日本語を覚える競争をしています。休日は仕事の話は一切せず、プライベートとしてつき合うことを大切にしています。(小藪さん)

社員とのコミュニケーションの心掛けを伺うと、「自分が正しいと思わず、1回相手の話をしっかりと聞くこと」との事。多様な人材が集まる理由は、この姿勢にあるのかもしれない。

目の前の楽しさではなく、人生を通してどちらが“本当に楽しいのか”を常に問い、実践する小藪さんを中心に、プロとして仕事をする主体性が育まれるのだと感じました。

## 外国人材活用情報

外国人採用を検討したい方へ、外国人雇用制度の監理・支援団体をご紹介します

### はじめての雇用に「技能実習」

技能実習制度は、若い外国人が日本の技術を学んだ後、母国でその技術を生かして経済成長につなげてもらうという、国際貢献の一つで、原則3年(最大5年)までの滞在になり、修了後には帰国するか、特定技能へそのまま移行することも可能です。

### 技能実習制度のご相談は



法務大臣・厚生労働大臣「一般監理事業」許可(公社) 国際人材革新機構【iforce】

TEL:03-6435-3021

MAIL:s.nishimoto@iforce.or.jp

担当: 西本様

東京都台東区蔵前1丁目4番1号ザ・パークレックス蔵前6F

### 長期的な雇用関係を築く「特定技能」



特定技能で働くためには、外国人労働者本人は同業種の技能実習(3年以上)を修了していること、もしくは、試験(建設分野特定技能1号評価試験、および、日本語能力試験 N4級等)に合格している必要があります。

いること、もしくは、試験(建設分野特定技能1号評価試験、および、日本語能力試験 N4級等)に合格している必要があります。

### 特定技能制度のご相談は



出入国在留管理庁「登録支援機関」(一社) 雇用創出支援機構【ECS】

TEL:03-6240-9360

MAIL:s.iida@tokuteiginou.or.jp

担当: 飯田様

東京都台東区浅草橋1-1-15 原田ビル6階

※ご相談は「在住協会会員です」とお伝えいただくとやりとりがスムーズです

## 在住協事務局便り インタビュアー曾我の思い

会員インタビューでは、建築業に就かれたきっかけや、仕事への思い、愛用道具など根掘り葉掘りうかがいます。毎回、お話からにじみ出る、仕事への信念に深く感動しています。お時間を割いていただく事になりますが、これからも事務局一同で各地域の方のお話を届けていきたいと思っております。どうぞご協力をお願いいたします。



(2023/11/8撮影)



## 年末年始休業について

2023年12月27日 - 2024年1月4日

上記期間を年末年始休業とさせていただきます。期間中のお問い合わせは2024年1月5日以降に順次対応させていただきます。ご不便をおかけいたしますが、ご了承くださいますようお願い申し上げます。



(2023/11/17撮影)

## お知らせ

### 大学特別講義を開催しました

東海大学の3・4年生に向け、在来工法を紹介し、建築業界の魅力を伝え、理解を深める特別講義を開催しました。参加企業から、会社案内や就活情報をご紹介いただきました。ご参加いただき誠にありがとうございました。

【参加企業】※五十音順

- ・栄四郎瓦株式会社
- ・JKホールディングス株式会社
- ・タマホーム株式会社
- ・日本住環境株式会社
- ・吉野石膏株式会社

We are members!



## 在住協会員数

第14期 (2023年度)	会員数	前月対比	期首対比
11月	2,869	+58	+84

## 新規会員様のご紹介

- ・株式会社DRP様 (神奈川県)
- ・千葉安全協力会様 (14件)
- ・宮崎安全協力会様 (46件)

新規入会の皆様

末永くよろしくお願ひ致します



Find us on Facebook

フェイスブックでも配信中  
お友達追加をお願いします!



発行元 一般社団法人 日本在来工法住宅協会

Japan Traditional Wooden Home Association

〒108-0074

東京都港区高輪2丁目14番18号 グレイス高輪207

TEL: 03-6408-0285 FAX: 03-6408-0286

e-mail: zairai@jtha.jp HP: https://jtha.jp/



## FAX講読ご利用中のみなさまへ

1. カラーで読みやすいメール講読へ変更されませんか? 貴社名・ご担当者様名・メールアドレス明記の上、zairai@jtha.jp までご連絡ください。
2. 配信停止をご希望の場合は、会社名及びFAX番号、「通信配信停止希望」とご記入の上、FAXでご連絡下さい。ご連絡のタイミングにより次月も届く場合がございます。予めご了承下さい。